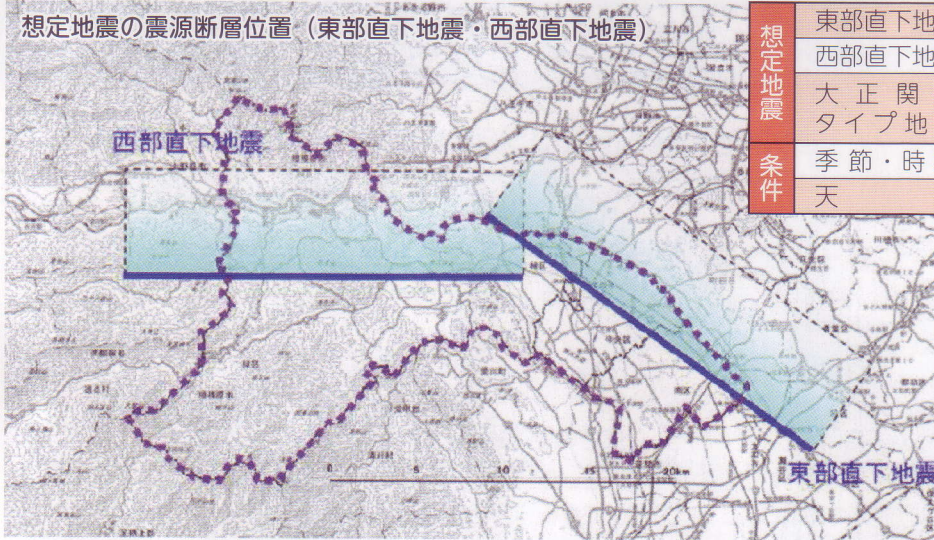


新磯地区の被害想定

平成26年「相模原市防災アセスメント調査」結果より、新磯地区における想定地震の被害予測や土砂災害・風水害等の危険性について、次のとおり示されています。

地震被害想定



想定地震	東部直下地震	マグニチュード7.1
	西部直下地震	マグニチュード7.1
	大正関東タイプ地震	相模トラフで発生するマグニチュード8クラスの海溝型地震
条件	季節・時刻	夏12時・冬18時・冬2時
	天候	晴れ・風速3m(本市の平均風速)

※大正関東タイプ地震の震源域は、神奈川県・東京都・埼玉県・千葉県・茨城県を横断する広大な範囲であり、相模原市はその震源域上に位置します。

■建物被害の予測（新磯地区における被害量）

(棟)

	想定地震	地区	建物総数	全壊	焼失	大規模半壊	半壊
冬 18時	東部直下地震	新磯	5,586	222	35	78	862
	西部直下地震	新磯	5,586	35	2	72	406
	大正関東タイプ地震	新磯	5,586	158	0	80	755
	※東部直下地震	全市	178,173	7,964	1,366	147	24,904

■人的被害の予測（新磯地区における被害量）

(人)

		東部直下地震	西部直下地震	大正関東タイプ地震	※東部直下地震(全市)
冬 2時	死者	14	2	10	498
	閉込者	88	13	58	2,935
	重傷者	14	2	10	599
	軽傷者	96	33	77	3,823
冬 18時	避難者 当日	873	296	626	24,024
	避難者 1週間後	1,895	867	1,550	60,757

土砂災害の危険性

新磯地区の中段～上段の縁にある段丘崖において「急傾斜地崩壊危険箇所」が2箇所指定されています。「土砂災害警戒区域」は現在のところ、指定されておりません。

水害の危険性

河川の氾濫による浸水想定区域の指定は、相模川では、概ね150年に1回程度起こる大雨を想定し、相模川沿いの低地の大部分が想定区域となっています。

鳩川では、概ね30年に1回程度起こる大雨を想定し、JR相武台下駅周辺の市街地で2m以下の浸水が予測され、低地部で1m以下の浸水が予測されています。



液状化の危険性

相模川沿いにみられる沖積低地または自然堤防といった地形が分布する範囲で液状化発生の可能性があります。特に「東部直下地震」の場合、新磯地区では、相模川からJR相模線までの間で液状化の可能性があるとの結果が出ています。